

【成果】

セミナーの実施状況

整理番号	S-AA-MPU1	
セミナー名	(和文) 日本学術振興会第一回アジア・アフリカ創薬基盤形成セミナー	
	(英文) JSPS 1 st Medicinal Chemistry Seminar of AA Science Platform Program	
開催時期	平成 18 年 12 月 14 日 ~ 平成 18 年 12 月 15 日 (2 日間)	
開催地 (国 (地域) 名、都市名、会場名)	(和文) タイ王国・バンコク・チュラロンコーン大学	
	(英文) Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand	
日本側開催責任者 氏名・所属・職	(和文) 森田隆司、明治薬科大学大学院薬学研究科・教授	
	(英文) Takashi Morita, Graduate School of Meiji Pharmaceutical University, Professor	
相手国側開催責任者 氏名・所属・職 (※日本以外で開催の場合)	Pornpen Pramyothin, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Chulalongkorn University, Associate Professor (Dean)	
参加者数	①アジア・アフリカ学術基盤形成事業の経費を受けて参加した人数・人日数 (その内、共同研究経費により支給したものについては、カッコ内にも記入のこと)	計
	日本側参加者	5/26 (5/26) 人/人日
	(タイ) 国(地域)側参加者	0/0 (0/0) 人/人日
	(インドネシア) 国(地域)側参加者	4/16 (4/16) 人/人日
	(インド) 国(地域)側参加者	1/4 (1/4) 人/人日
	②本事業の経費の支給を受けずに参加した人数	計
	日本側参加者	6 人
	(タイ) 国(地域)側参加者	131 人
	(インドネシア) 国(地域)側参加者	1 人
	(インド) 国(地域)側参加者	1 人
	①と②の合計人数	
セミナー開催の目的	それぞれの拠点大学において、これまでに本プロジェクトに関連して展開してきた研究成果について発表する (招待講演)。これによりそれぞれの研究の評価と問題点の抽出・提示を行う。さらに、基調講演により、本プロジェクトの目的を明確に提示し、相互の理解とこれからの事業展開の方向性を相互確認する。今回は特にタイ国における若手研究者に一般講演やポスタープレゼンテーションの場を提供し、同国の天然物化学に新しい刺激を与える。	

<p>セミナーの成果</p>	<p>本セミナーは、「創薬化学」をテーマに第 23 回タイ国薬学会とジョイントした学術講演会として総勢 400 余名の参加登録者のもと、JSPS アジア・アフリカ学術基盤形成事業「亜熱帯生物由来天然物を創薬シードとする医薬品開発研究」の日本及びタイ国側メンバーを中心として企画した。セミナー開始に先立ち、日本側拠点機関を代表して久保陽徳学長から本事業の背景とこれまでの経緯について簡単に紹介したのち、本事業メンバーによる研究成果報告(口頭発表 10 題)、基調講演 (3 題)、その他若手研究者及び大学院生によるショートプレゼンテーションを含むポスター発表(15 題)、その他ポスター発表 (135 題) により展開された。</p> <p>基調講演を含む口頭発表では、活発な討議や助言が行われた。特に、若手研究者や大学院生によるショートプレゼンテーションはタイ国では初めての試みであったが、いずれの発表者も制限時間内に研究内容をうまくまとめて報告され、たいへん好評だった。また、総計 150 のポスターから 7 つのポスター優秀賞を選び、表彰した。このように本セミナーは天然物化学の領域で将来を担う若手研究者にとってたいへん大きな励みになったものと感じる。</p>
<p>セミナーの運営組織</p>	<p>組織委員長 Tankashi Morita, MPU, Professor Pornpen Pramyotin, CU, Associate Professor (Dean) 実行委員長 Naoki Saito, MPU, Professor Khanit Suwanborirux, CU, Associate Professor 総務委員長 Rungpetch Sakulbumrungsil, CU, Associate Professor 会計 Hidenobu Miyazaki, MPU 記録 Hajime Ichikawa, MPU</p>